

第2回プログラム

○第2回市民委員会

①目的

- ・浜田市が目指す8年後について、同じ言葉・同じイメージで話せる状態に到達

②役割分担

- ・政策企画課：全体進行、さとゆめ社：ファシリテーター

③プログラム

議題	時間(分)		担当	内容
開会挨拶	3	13:03	政策企画課	
前回市民委員会の振り返り	5(8)	13:08	さとゆめ	・ワークショップ①～③の結果共有、ビジョンのラフ絵の紹介
ワークショップの進め方	3(11)	13:11	さとゆめ	・全体像（市民委員会のゴール）、グランドルールの説明
アイスブレイク	15(26)	13:26	さとゆめ	・各テーブルに分かれて、アイスブレイクを開始 お題：前回の市民委員会の感想、今回の市民委員会に期待すること
ワークショップ①説明	3(29)	13:29	さとゆめ	・浜田市の魅力を高めるための取組の説明
ワークショップ① ～魅力を高める取組～	44(73)	14:13	さとゆめ	お題：浜田市の魅力を高めていくために必要な取組は？ ⇒ビジョンのラフ絵を下図に魅力を高めるための取組をポストイットに記入・貼付 【魅力とは？】 市外の目線：何度も浜田市を訪れたい要素 市内の目線：市民の誇りの醸成につながる要素
ワークショップ②説明	3(76)	14:16	さとゆめ	・人口減少が地域に与える影響、守っていききたい機能の説明
ワークショップ② ～守っていききたい機能～	40(116)	14:56	さとゆめ	お題：人口減少下においても、守っていききたい生活サービス機能は？ ⇒ビジョンのラフ絵を下図に、守っていききたい機能をポストイットに記入・貼付
グループ間発表・共有	30(146)	15:26	さとゆめ	
休憩	10(156)	15:36		
ワークショップ③説明	3(159)	15:39	さとゆめ	・次世代に受け継いでいきたい浜田市らしさの説明
ワークショップ③ ～次世代に受け継いで いきたい浜田市らしさ～	47(206)	16:26	さとゆめ	お題：次世代（子や孫たち）に受け継いでいきたい浜田市らしさは？ ⇒各自にA4用紙を配布し、記載頂く ⇒各グループで共有、キャッチフレーズを考える
グループ間発表・共有	20(226)	16:46	さとゆめ	
今後の進め方	4(230)	16:50	政策企画課	・今後の市民参画のプロセスを説明
閉会挨拶	5(235)	16:55	市長	
全体撮影	5(240)	17:00	さとゆめ	

育ち、育てる、浜田へ —関わることを、おもしろく。—



育ち、育てる、浜田をつくる市民委員会【第2回】

1. 前回市民委員会の振り返り

2. ワークショップの進め方

3. グループワーク

①浜田市の魅力を高める取組 – 44分 –

②人口減少下でも守っていききたい機能 – 40分 –

グループ間発表・共有 – 30分 –

③次世代に受け継いでいききたい浜田市らしさ – 47分 –

グループ間発表・共有 – 20分 –

4. 今後の進め方

●前回の振り返り (1) 浜田市が誇る3つの地域資源 1) 上位3位

票数	カテゴリー	内容
37票	自然の豊かさ	自然豊か
		近くに海・山・自然がある
		身近な自然
		夕日の風景・雲が流れて美しい・海岸線の美しさ・落ち着ける海辺がある
		自然（海・風・川・水・陽・土地・山）
		海浜公園・マリンスポーツ・釣り・カヌー
		自然が豊か、海・川・温泉が多い
		マイナスイオン
		海岸、砂浜もあり、岩場もあり、波止もある、変化に富んでいて楽しい
		黄長石かすみ石玄武岩、目的なくふらっと行ける場所・バス停のような小さなスポット・川に冬鳥・生態学・川と生活
		浜田川
畳ヶ浦		
16票	石見神楽	石見神楽を幼児から大人で、世代交流
		神楽、連携・世代交流
		歴史・文化
14票	水産業	のどぐろ・どんちっちあじ・どんちっちかれい・いか
		魚がおいしい
		魚が採れる
		漁港

●前回の振り返り (1) 浜田市が誇る3つの地域資源 2) 上位4位以降

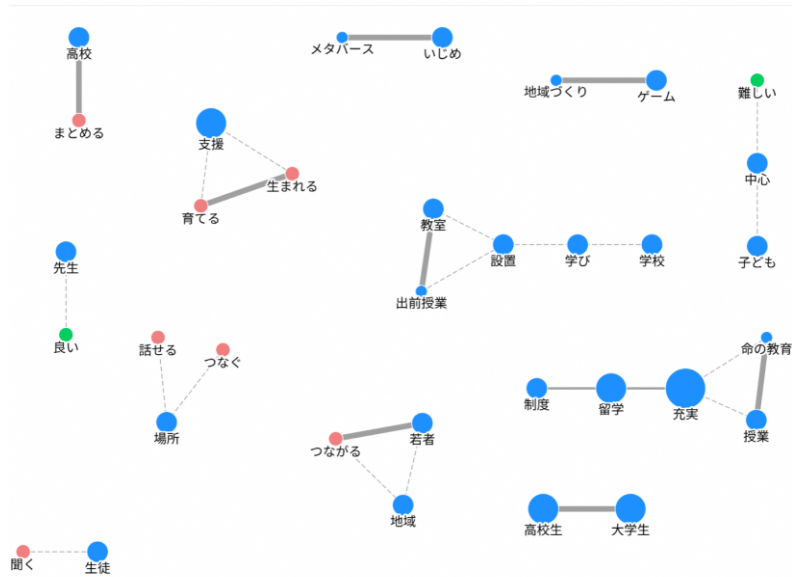
票数	カテゴリー	内容
13票	人のつながり	人の良さ・つながり 人のことを思う地域の人々 人が優しい 人が温かい 人柄・人情 方言・人間関係 市民同士のつながりが残っている、地縁・テーマ・学校縁 地域コミュニティ・自治活動 家と家の距離
12票	食の豊かさ	食の豊富な地域 野菜、米・柿・干物 野菜がおいしい 弥栄の有機米 有機農家さんが近くにたくさんいる 有機農業・海産物、オーガニックビレッジ宣言 有機農学の産地づくり 魅力いっぱいのローカルブランド、久保田牛乳・エビス・江木蒲鉾・金城の華 地産地消・自然 水
8票	生活利便性と交通アクセスの良さ	普通に生活するには便利、学校・医療・商店・福祉・美・文化・高速 高速で東西・南もつながっている 山の奥の奥まで道路がつながっている バイパスができた 立地 買い物先が選べる 交通の便
7票	温泉	温泉が多い・豊富
6票	暮らしやすい気候	住みやすい(気温・災害が少ない・福祉の充実) 気温、海側は冬は暖流の影響で温かい・山側は夏は涼しい 自然災害が少ない・気候が穏やか 地震が少ない(高台が多い) 山陰随一の気候・温暖地域
5票	多世代にわたる学びの環境	幼稚園から大学まで、留学生もいる・様々世代 保育・幼稚園から大学 大学生のエネルギー、地域に積極的に出て活動する人が多い 県大生 大学生1000人
3票	著名なスポーツ選手	梨田昌孝・三浦龍司をはじめとする全国に知名度のある選手
3票	まち全体で支える教育・福祉・子育て	教育・人づくり 町を挙げて協力 福祉(障害)サービスの充実・協力的 子育て環境

その他	行政・インフラ
	林業
	教育・文化・歴史もあり・郷土芸能・中核都市
	大カツラの木
	石州半紙
	アクアス
	他の県にはない医療がある
	農業できる土地が結構ある
	水の管理をしている、井戸の水
	学生時代の面影がない・変わっていく風景・25年後の人口減少
	人情・弱肉強食的な競争文化は少ないよう・異なる価値・教育虐待など
	海も山も活用できれば良い
	山林の荒れが気になる、山林を大切にすることは海につながるので、漁業と切り離せない
	久しぶりに市内を歩いたが、歩く人いない

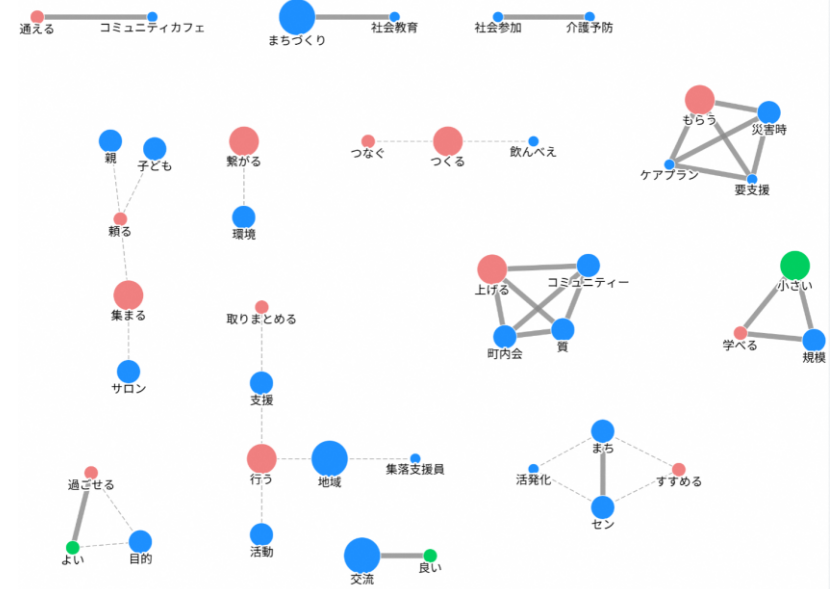
①環境	山の管理→豊かな海 浜田市の環境を活かした産業		
②デジタル	交通DX、中山間地との移動 産業DXの推進 デジタル活用した企業 医療デジタル		
	公共施設のデジタル化（予約など） 元気な高齢者を目指すためにどうするか（100歳体操、リフレッシュ方法） 各家庭にPC環境がある 使う側は気づかない		
	②人権	男女の収入格差の是正 外国人との共生と推進 子どもの人権が守られているまち 大人中心で作ってきたまちから、子供・若者をパートナーとしたまち こどものためにからこどもと共に	
	③交通	運転できない人も快適に移動できる環境づくり 公共交通の不便さ 車がなくても移動できる仕組み、浜田市へ 大学生も交通難民 車を持っていない人の「旭」へのアクセス難 JRの無人化も近い！？浜田駅 災害に強い交通を 公共政策の優先順位	
		③インフラ	質の向上、適正なマネジメント 浜田市はまとまった平地が少ないため、市内中心部は高層化、狭い土地の活用必要 道路を作るのは良いが、近隣施設の利用者が減らないような配慮必要 観光客と同じくらい、そのまちに住む人のことも考えてほしい 道路を延伸は良いが、そのまちの景観を残してほしい 時間はこれ以上短縮しなくても、、、効率より大切なのは、、、 浜田川の整備
③防災・防犯・消防			危機意識が低い 防犯のための地域の見守りネットワーク 火災が多い 密集地域の消火対策 学生は特に注意

④スポーツ	スポーツを通して多世代交流 多様なスポーツが出来る浜田市 少人数でも維持できるスポーツに取り組む	
	④歴史・文化	一次産業にかかわる技術や伝統文化の継承している 歴史のアピール、インバウンド対策（朝ドラばげばけ、石見銀山など）
⑤医療・健康・福祉	医療体制の充実 まず病気になるらない健康的な体づくりの情報提供（学校で） 予防医療の充実（そのような科はないのか？） 中山間地域での医療の存続 総合病院を目指す 安心して住み続けられるまちづくり 認知症にならない 歩ける（何歳になっても）	
	⑥産業・就業	温泉街の店・宿の充実 一次産業の効率化（米など） 港の有効活用、水産と協力 地域の資源（有機農業）を生かした産業の実現 AI×ITで儲かる第一次産業の実現 良い所得、労働条件の仕事・雇用を増やす

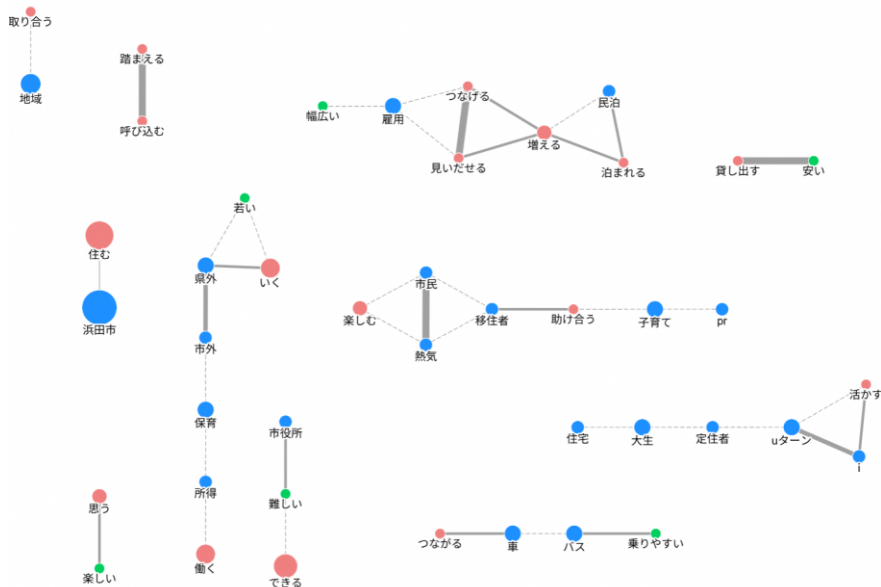
○子育て・教育



○地域コミュニティ



○人口対策定住



●前回の振り返り (2) テーマ別の目指すべき姿 2) 具体的な取組 ②個別テーマ

①環境	山材を活かした産業づくり
	海洋発電
	マイナスイメージのある策を避ける
②デジタル	×太陽光発電
	子育て、ごみ捨て統合アプリ
	開発運用の専門家チーム
	浜田市版すきまバイト
	地域アプリの開発、利便化
	DX化による地域通貨、ポイントの活用
	自動運転、無人運転の導入
	申請の電子化
	市役所業務デジタル化、zoomを基本に
	徹底的な数値化
	独居の方のWi-Fi整備
	行政内でヤングケアラー、障害、その他をDX化で重層的支援のケースをしっかりと
②人権	議会答弁づくりのDX化
	遠隔医療アプリの活用（診療看護師の充実）、問診オンライン化
	セキュリティの高いDX、アプリの活用
②人権	子どもの権利を推進していく市民プラットフォームの構築
	不登校個別最適な学びの保証、学ぶ権利の保障
	認知のある方との交流をどうするか、人権を認めるには学習もいる、その教育を与えてほしい
③交通	乗合・自動運転
	病院・買い物に行ける（希望すれば）、買い物弱者への対応
	高齢者ドライバーゼロ
	福祉バスの増車
	乗合タクシーの設置、活用
	ミニバス（あちこちあらゆる時間帯）車のない人向け
	車を減らす（通勤はバスや乗り合い）
	市内エリアあちこちに循環ミニバス（10人乗り程度）
	ライドシェア、自動運転技術、ドローンの導入
	20人乗りのバス（自動運転）
JRの便を増やす	
③インフラ	道路の標示が消えている
	計画的なインフラ作り（使う人の身になって）
	公共の建物の推進・管理を適正して判断できるシステム
③防災・防犯・消防	駐車場の計画的な検討
	高度経済成長時の作ったものの老朽化への不安（橋、トンネル、道路などの安全性）
	駅前活性化を目的とした開発で山を削る、商店街の衰退への検討
	みんなが参加できる防災訓練を考える
	浜田市の防災訓練に地震対応があると良い
	防災対策で避難場所の非常電源整備がない
	防災研修は地域が必要
	食品衛生の知識を
	自主防災組織がしっかりとない
	市営住宅の消防法違反
食品衛生の知識を	
小・中学校の体育館へのエアコン設置	
空き家対策	
誰がどこにいるのかわかること	

④スポーツ	バドミントン、ロッククライミング、モルックなど
	参加しやすい部活動の体制づくり
④歴史・文化	陸上競技場の新設、大会の実施
	城山周りの美化（城山へ行くところのぼんぼり桜の時期にあれば良いのでは）
	神楽クラブ
	黒川町にある資料館が老朽化（浜田城の資料館内に展示という考え方はないか。館内が広すぎるので利活用を考えてほしい
⑤医療・健康・福祉	多世代交流で技術の継承
	インバウンド
	若い人のための医療体制
	若い人の病気の治療
	子どもたちや大人の心理サポートを増やす、気軽に居られる場所を増やす
	院内学級はなくても入院・療養している子供たちをオンラインでサポート出来たら良い
	学校の子どもたちと大人、また障害がある人との交流が増えると良い
	若い人、学生が病院に行きづらい
	リモート医療で24時間診療体制
	3次救急での対応が良くなるよう医療センターを変えてほしい、医療関係者の増加
	24時間サポートできる医療、リモート診察（高齢者も）
	行政と企業が一体になって、家でのITインフラを活用した安否確認
障害者サポート（福祉・仕事など）	
障害者が働けないことも多くお金で困ってる人もおり、福祉のサポートが増えると良い	
障害者のサポートの増加（支援所の増設、オンラインでの仕事のサポート）	
明石市みたいに子育て・障害者のサポートを優先的に	
障害者の災害の時に消防・医療・市役所と話ができるサポートを	
ハザードトークという災害無線と電話が一緒のものを高齢者に配布	
母親が働かず子供と過ごしたいなら、その期間のお金のサポート必要	
⑥産業・就業	無人機の活用、圃場の整備
	土地があるので企業を誘致する

目的：浜田市が目指す未来を同じ言葉・同じイメージで話せる状態に

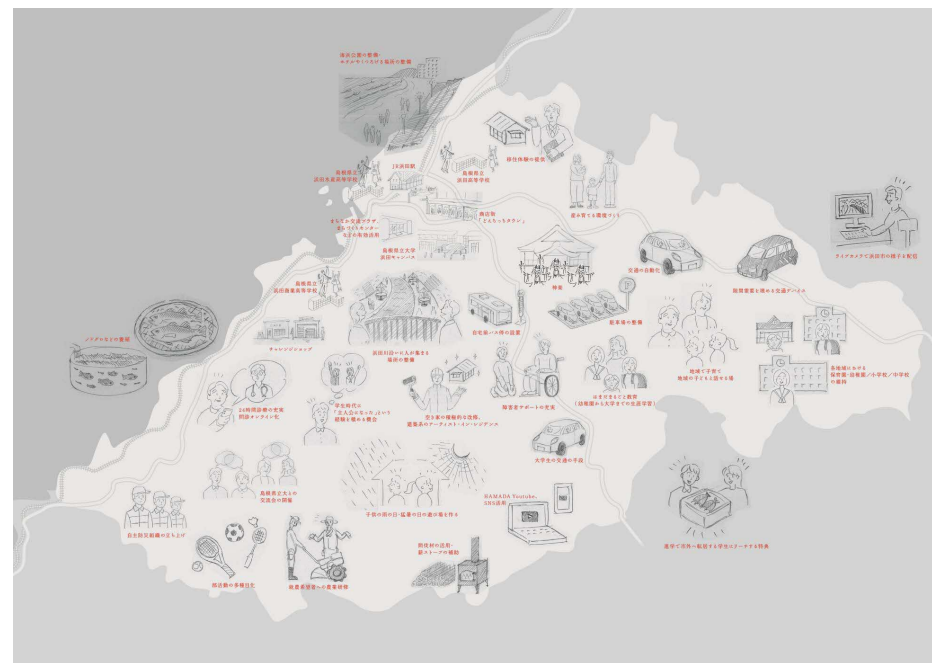
○1回目

- ・浜田市らしさ
- ・テーマ別の目指すべき姿
- ・目指すべき姿の実現に向けて必要な具体的な取組



○2回目

- ・魅力を高める取組
- ・守っていききたい機能
- ・キャッチコピー



みんなのチャレンジマップ 大崎上島 ～上島まるっと大改造～



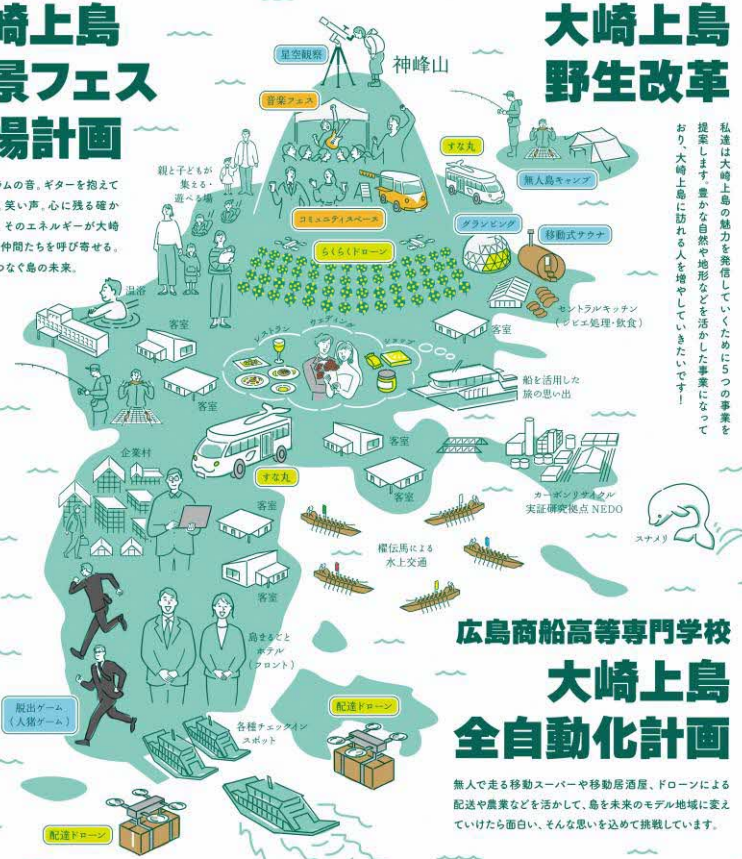
次世代を担う学生が、地域の魅力
化事業を提案してくれました。この
チャレンジは、官主導でもなく、
民主導でもない、官民連携により
実現を目指します。

広島県立大崎海星高等学校

広島県立広島智智学園高等学校

大崎上島 絶景フェス 会場計画

放課後のドラムの音、ギターを弾いて
進む道、笑い声、心に残る確かな
音の軌跡。そのエネルギーが大崎
上島を包み、仲間たちを呼び寄せる。
青春の音が響く島の未来。



大崎上島 野生改革

私達は大崎上島の魅力を発信していくために5つの事業を
提案します。豊かな自然や地形などを活かした事業になって
おり大崎上島を訪れる人を増やしていきたいです！

広島商船高等専門学校 大崎上島 全自動化計画

無人で走る 移動スーパーや移動居酒屋、ドローンによる
配送や農業などを活かして、島を未来のモデル地域に変えて
いくための面白い、そんな思いを込めて挑戦しています。

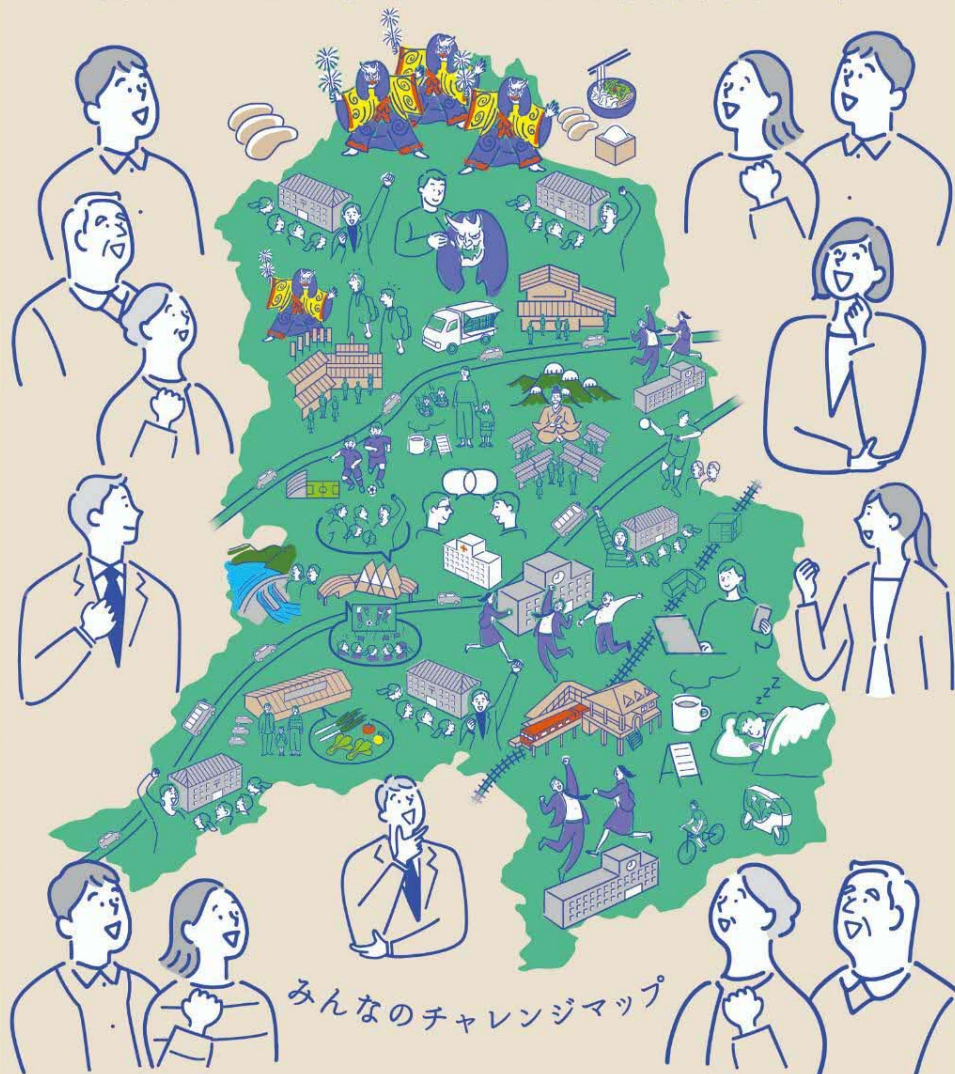
16歳が考えたら、
こんなアイデア生まれました。

デザイン: AKEBONO DESIGN



安芸高田市

第3次安芸高田市総合計画 AKITAKATA CITY 3th COMPREHENSIVE PLAN 2025-2044 百万一心、未来へつなぐ安芸高田市



みんなのチャレンジマップ

- ①たくさん話して、たくさん聴こう！
- ②大きくリアクション・反応しよう！
- ③異なる意見・視点を楽しもう！
- ④リラックスして参加しよう！
(お手洗い、水分補給などはご自由に)

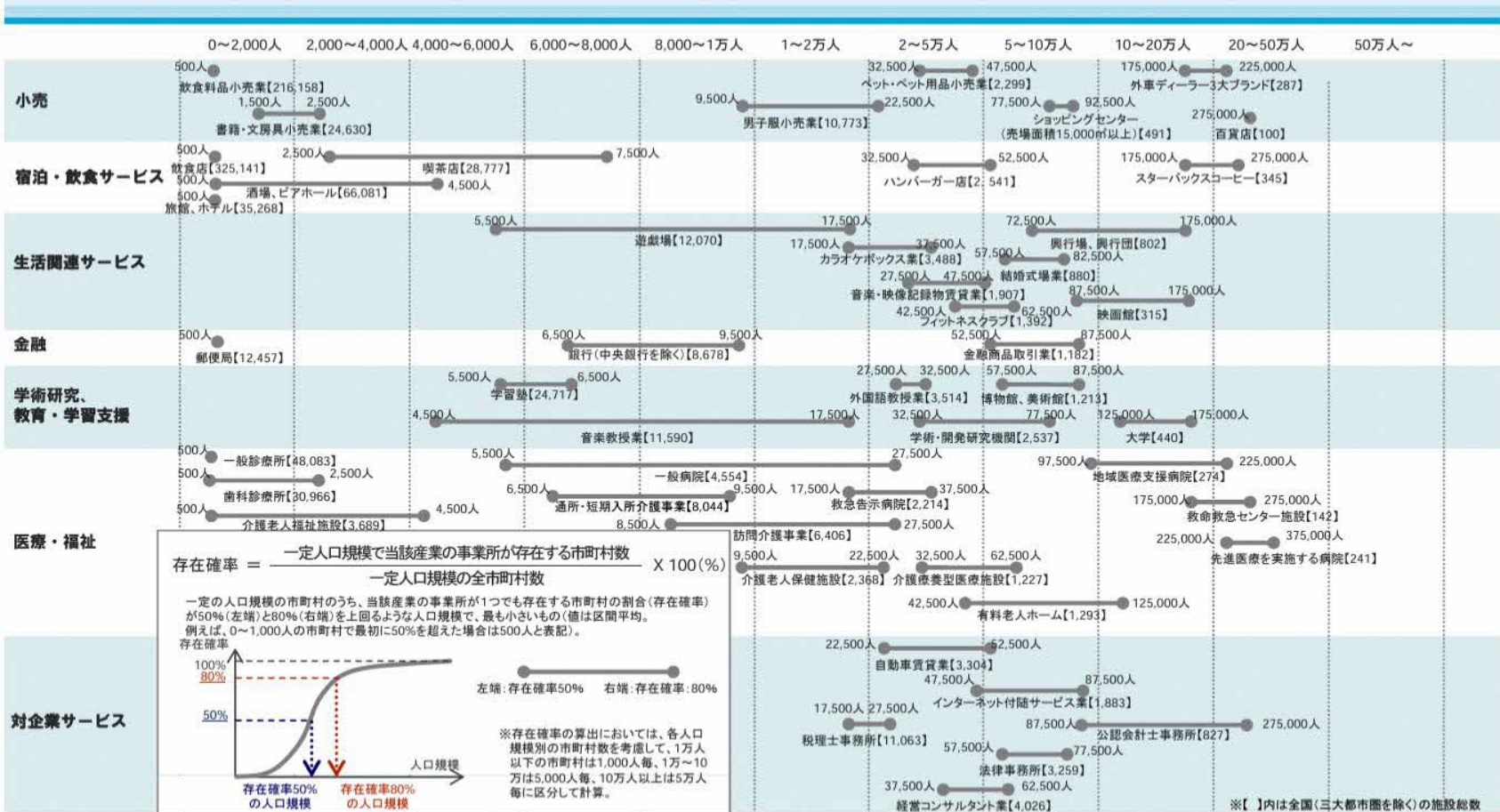
グループで話をしながら、ラフ絵に浜田市の魅力を高めていくために必要な取組を
ポストイットに記入して、貼り付けてください！

【魅力とは？】

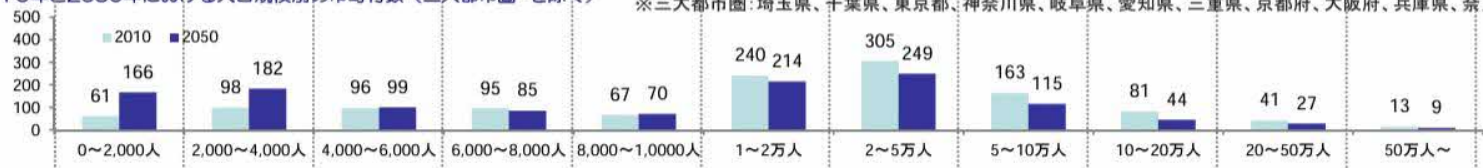
市外の日線：何度も浜田市に訪れたくなる要素

市内の日線：市民の誇りの醸成につながる要素

生活関連サービス施設の存在確立



(参考) 2010年と2050年における人口規模別の市町村数(三大都市圏を除く)



(注1) 2050年の市町村別人口は、国土交通省国土政策局推計値
(注2) 2010年、2050年ともに、人口規模別の市町村数は、平成22(2010)年12月1日現在の三大都市圏を除く1,260市区町村を基準に分類

(出典) 総務省「平成21年度経済センサス」、厚生労働省「医療施設調査 病院報告(平成24年10月)」、同「介護サービス施設・事業所調査(平成24年10月)」日本救急医学会HP、wellnes HP、日本ショッピングセンター協会資料、日本百貨店協会HP、メルセデスベンツ・フォルクスワーゲン・BMW各HP、スターバックスコーヒージャパン資料をもとに、国土交通省国土政策局作成

グループで話をしながら、ラフ絵に守っていききたい生活サービス機能を
ポストイットに記入して、貼り付けてください！

次世代（子や孫たち）に受け継いでいきたい浜田市らしさをお手元のA4用紙にご記入ください！
（ぜひ、周りの方とお話をしながら！）

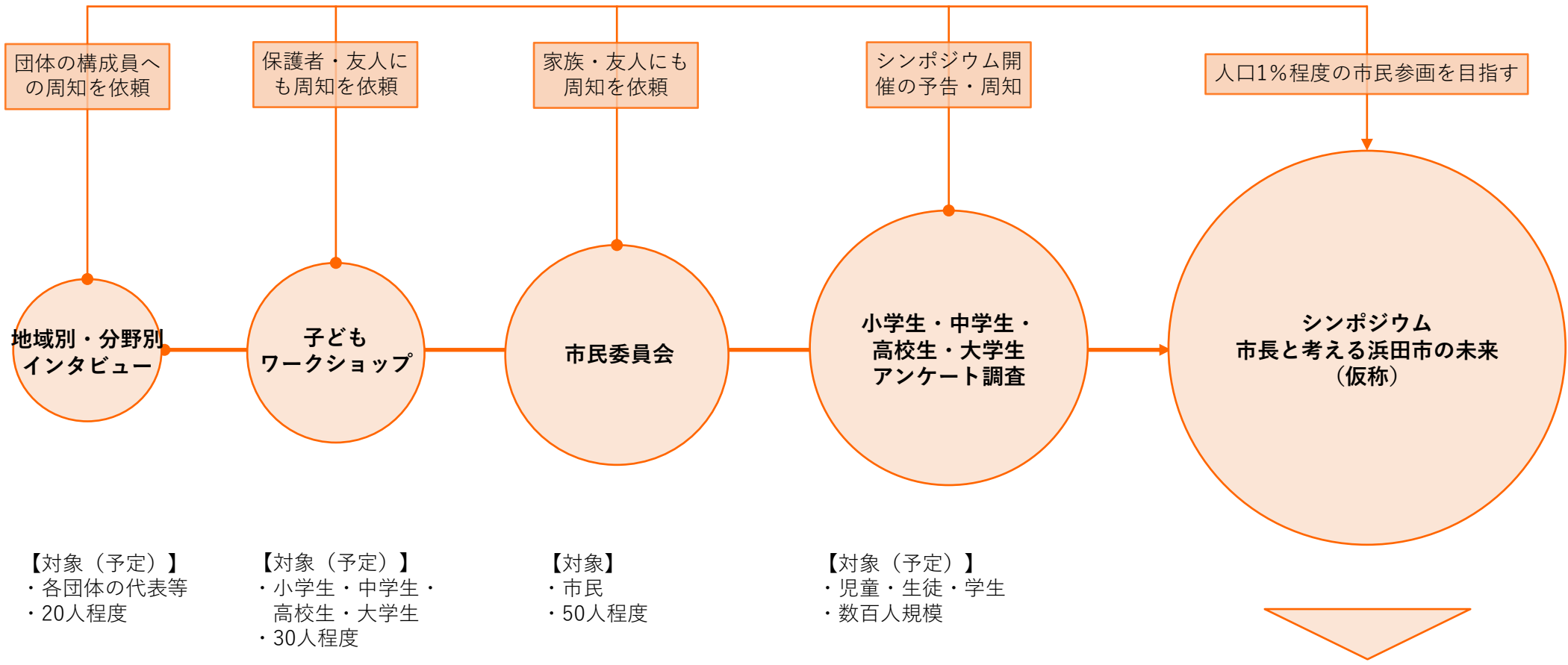


ラフ絵、浜田市らしさを踏まえて、
どんな未来を目指していきたいかキャッチフレーズを各グループで考えてみてください！

●今後の市民参画のプロセス

- ・総合振興計画の策定に向けて、「世代を超えて共通する浜田市ならではの価値観、次世代（子や孫世代）に受け継いでいきたい価値観」を市民委員会、ワークショップ、アンケート調査等により検討し、まちづくりシンポジウム及びパブリックコメントで多くの市民と共有します。
- ・総合振興計画の策定を通じて、多くの市民が同じ言葉、同じイメージで浜田市の未来を語れる状態を目指します。

●市民参画のプロセス



パブリックコメントの実施

○の大きさ：市民参画の人数のイメージ。市民との対話等を徐々に進め、シンポジウムを開催。